

令和6年度盛岡広域くらしの魅力発信イベント及び移住相談会企画運營業務の企画提案に関する質問への回答

No	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
1	資料2_業務仕様書	1	2.(2).②.ア オンライン配信イベントの実施、開催方法	オンライン配信イベントの開催場所は、「不問」ということでよいか。	オンライン配信イベントについては、対象となる岩手県及び東北地方での地方暮らしに関心がある子育て世代に対して、県央圏域の魅力を効果的に訴求できる開催方法を御提案ください。
2	資料2_業務仕様書	2	2.(2).③.ウ 移住相談会の開催、開催場所	ふるさと回帰支援センター セミナールームDの使用料については、当方負担（予算から捻出）なのか、それとも岩手県のご負担か。	岩手県の負担となります。
3	資料2_業務仕様書	2	2.(2).③.カ 移住相談会の開催、実施内容	移住相談会における個別相談を受けるのは、ゲストスピーカーの想定か、それとも市町のご担当者か。	個別相談について、ゲストスピーカー及び各市町担当者の両者に対応いただくことを想定しています。
4	資料2_業務仕様書	1	2.(2).② オンライン配信イベントの実施	過去同様の30分オンラインイベントを行ったことはあるか。その際の成果と課題があれば教えて欲しい。	過去に30分間のオンラインイベントを実施したことはありませんが、令和5年度には120分間のオンラインイベントを開催し、28人に参加いただいたところです。参加者数を増やし、参加者とのつながりを強めるため、短時間で配信頻度を高める必要があることから、本業務では30分程度としています。
5	資料2_業務仕様書	1	2.(2).②.ウ オンライン配信イベントの実施、参加目標人数	オンライン配信イベントの実施「参加目標人数20人程度」について、こちらは1回あたりの目標人数か。それとも4回の合計人数か。	1回当たりの目標人数です。
6	資料2_業務仕様書	2	2.(2).③.オ 移住相談会の開催、参加対象市町	「参加対象市町：県央圏域8市町」とあるが、こちらは全てオフライン参加される想定か。オンライン想定となった場合はつなげるためのPCが必要だが、それは委託者が用意するのか。	開催方法は対面とオンラインとの併催となります。ふるさと回帰支援センターセミナールームDの利用可能備品一覧に記載している備品以外は、委託者において用意することとなります（資料2業務仕様書別紙参照）。